

令和5年第1回福岡市議会（定例会）提出意見書案概要

意見書案第1号 認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書案

認知症の人も家族も安心して暮らせる社会の構築のため、また認知症の人や家族の困難を最小限に抑えることを目的として、認知症の重症化抑制や認知機能維持のための薬や対処法等研究開発体制の強化、認知症グループホームへの低所得者や圏域外の人々も含めた入所の仕組みづくり、認知症のリスク低減につながる国民の日常生活をサポートする知識や情報を提供する体制の整備、国と地方公共団体等が一体となって、認知症に対する施策を、総合的かつ計画的に推進するための法の整備を行うよう要請するもの。

意見書案第2号 保育士配置基準の抜本的な見直しを求める意見書案

現在の保育士配置基準では新型コロナウイルス感染症対策として密を避けることは難しい状況である。また、一人一人の子どもの声に耳を傾けられる余裕を持った保育や、災害時などに子どもたちの命と安全が守られる保育を実現するためにも保育士の増員が急務となっている。保育士配置基準は、基準制定以来70年以上一度も見直されておらず、保育現場では、「子どもたちに、せめてもう一人保育士を」との声が上がっている。よって、必要な財源を確保し、保育士配置基準の引上げによる保育士の増員を図るよう要請するもの。

意見書案第3号 国立病院の機能強化と財政的支援の拡充を求める意見書案

国立病院は、他の医療機関では提供困難な分野の医療や感染症、災害時の医療などの重要な役割を担っている。コロナ禍においては、医療従事者派遣等の政府の要請に応じているが、人員不足のため派遣元の病院で患者に十分なケアができないなどの問題も起きている。国立病院の全国ネットワーク機能をいかし、新興感染症や災害等に備える医療体制を整え、強化を図ることは、医療崩壊を防ぎ、地域医療を守ることにつながる。よって、国立病院職員の賃金引上げなどを通じて人員確保を図り、国立病院の機能強化を行うとともに、財政的支援を拡充するよう要請するもの。

意見書案第4号 安保関連3文書を撤回し大軍拡の中止を求める意見書案

岸田政権は、「国家安全保障戦略」など安保関連3文書を閣議決定し、これらに基づき、5年間で43兆円程度を投じて大軍拡を進めようとしている。こうした軍拡予算の編成は、国家間の軍事的な緊張を高めるだけでなく、コロナ禍や物価高にあえぐ国民の生活を更に苦しめ、将来の世代にも重荷を負わせるものとなるため、安保関連3文書を撤回し、大軍拡を中止するよう要請するもの。

お問い合わせ

議会事務局調査法制課

電話番号 : 092-711-4749

FAX番号 : 092-733-5869